

研究内容

持続可能なプラリサイクル

・国の政策として大手ケミカルメーカーが競ってプラスチックの循環利用プラントを研究し、プラントを立ち上げている現状

課題:①長岡市として廃プラスチック再生利用をどのような産業として振興するのか見極めが重要
②国や大手メーカーの動きを研究し、今長岡市が取り組んでいるプラスチックリサイクルのスキルアップを図ることが重要

太陽光パネル、蓄電池等の循環利用

現状では、金属とガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチックの混合物として、15cm以下に破碎して埋め立てている。大手メーカーの動向を注視し、主流に乗り遅れないことが重要。

生ごみバイオマス発電の更なる推進

生ごみリサイクルの上流には、食品ロスの削減という大命題が存在。
食品ロス対策を検討し、そのうえで発生したものをバイオマス発電施設に効率的に搬入できるシステム作りが必要。

実現したい将来像

- ◎資源循環関連産業の振興
- ◎今後拡大する、再エネ発電設備の循環利用